



©2010熊本県くまモン

<<発行>>2022年6月
 熊本県東京事務所
 くまもとセールス課
 〒104-0061
 東京都中央区銀座5丁目3-16
 銀座熊本館3階
 ☎03-3572-5021



～熊本県のホタルの里～



水の国熊本県は県内各地に清流があり、5月から6月にかけてホタルが舞う場所がいくつもあります。その中から4カ所を紹介いたします。

【1】菊池市旭志（きょくし）地区

清流の多い菊池市には市内にいくつもホタルが舞う場所がありますが、中でも旭志地区の二鹿来（にかき）川、と渡瀬（わたせ）川は特にホタルが乱舞することで名高い場所です。その数、数千匹と言われています。

見ごろ：5月中旬から6月上旬

（問）菊池市商工観光課 0968-25-7223



旭志地区のホタルの乱舞

【2】阿蘇市北黒川地区

阿蘇市北黒川地区を流れる田代川は阿蘇市を代表するホタルの里。現地の有志グループ「碧水ホタルの里」の皆さんは河川の整備、周辺の草刈り、ホタル幼虫の捕獲・育成・放流などホタルの数を増やすべく日々活動をされています。また、昨年一昨年と中止になった「ホタル観賞ツアー（参加費無料）」を本年は開催予定。詳しくは「道の駅阿蘇」のHPをご確認ください。

見ごろ：5月下旬から6月中旬

（問）道の駅 阿蘇 0967-35-5088

碧水ホタルの里 ホタルツアー
 開催日：2022年5月27日(金)、28日(土)
 6月3日(金)、4日(土)
 10日(金)、11日(土)

この地域は昔から「ホタルの里」と呼ばれ、神秘的な「碧水（ヘスイイ）＝青々と深く澄んだ水」に生まれたホタルの里。この里でホタルの里メンバーが、初夏の野暮を彩るおもしろ世界にみなさんをお誘いいたします。

受付：19:50～20:00
 集合：YMCA黒川保育園 駐車場（阿蘇市黒川1708-1）
 参加費：無料（保険付／申込み不要）
 持参物：懐中電灯（雨天中止）

※雨天またはホタルの状況、コロナウイルス感染拡大により中止となる場合があります。
 ※小さなお子様は保護者様同伴にて参加下さいませようお願いいたします。
 ※コロナウイルス感染防止のため、手洗いの消毒、マスクの着用をお願いいたします。

【お問合せ先】碧水ホタルの里 嶋村（090-9769-6296）
 主催：碧水ホタルの里、道の駅阿蘇（NPO法人ASO国際交流博物館）、協力：北黒川地区

【3】八代市泉町仁田尾地区〔五家荘〕

標高1300～1700mクラスの山に囲まれた平家落人の里 五家荘は清流が多く、夜の灯りも少ないため、ホタルの光が鮮やかに見られる穴場のスポットです。渓谷を渡る吊り橋も多くスリルを求める方にもおすすめです。

※五家荘はカーブが多く道幅も狭く、街灯も非常に少ない地域です。

訪れる際は運転に十分お気をつけください。

見ごろ：6月下旬から7月上旬。

（問）八代市泉支所 0965-67-1111



泉町の白岩戸公園

【4】八景水谷（はけのみや）公園〔熊本市北区〕

大正時代から熊本市の水源として利用されている公園は多くの水生動物が生息。ホタルもその1つです。水場は水深が浅いので、お子様連れでも安心してホタル観賞や水遊びが楽しめます。公園内の「熊本市水の科学館」では上下水道の歴史や水に関する実験を学ぶことができます。

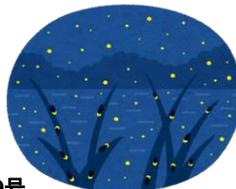
見ごろ：5月中旬から6月中旬

（問）北区土木センター 096-245-5050

熊本市水の科学館 096-346-1100



春の八景水谷公園



今月の市町村！ 錦町

今月は山の中なのに海軍の町であった錦町をピックアップ！

◆ひみつ基地ミュージアム 「人吉IC」または「人吉球磨SIC」から車で15分

太平洋戦争のさ中の昭和18年(1943年)11月に建設が始まった人吉”海軍”基地。当時熊本県内唯一のコンクリート滑走路を有したこの基地は終戦を迎える昭和20年8月まで、飛行予科練習生の教育、特攻隊向け訓練をする施設である一方、本土決戦に備えた広大な範囲の地下施設が建設されていました。人々の記憶から姿を消していった戦後70年が経過した平成25年(2013年)、当時の姿を鮮明に留める地下施設をはじめとする数多くの遺構が地元有志の方々により発見されました。「ひみつ基地ミュージアム」はこれら遺構を展示しています。日に7回開かれる地下魚雷調整場ガイドツアーは専門ガイドが案内する人気ツアーとなっています。

入場料：大人 800円 小人（小中学生） 500円
営業時間：9：00～16：00（7・8月～17:00）
（問）錦町立人吉海軍航空基地資料館 0966-28-8080



ひみつ基地ミュージアム



ミュージアム展示物

◆ほるもん街道 国道219号線周辺

錦町はフルーツの町として知られていますが一方で畜産農家も多く有り、新鮮なホルモンが容易に入手可能です。町内の9つの飲食店で定番の煮込みはもちろん、牛の各部位を用いた串焼きや丼、コロッケなどの工夫をこらしたメニューが楽しめます。左党の方は地元の球磨焼酎と合わせてみては如何でしょう。
（問）錦町商工会 0966-38-0009



名物 黒ホルモン

◆桑原（くわはら）家住宅〔国指定重要文化財〕くま川鉄道「一武駅」より車で7分

かつて人吉球磨地域に多くみられた伝統の鉤屋（曲屋）型の藁葺民家です。建築は江戸後期の1818～1830年頃といわれています。岩手県の曲屋は母屋に直角に繋がる部分は馬小屋ですが、球磨地方では台所・土間から構成されており、当時の暮らしぶりを見ることができます。

入場料：無料（外観のみ見学可能）
（問）錦町教育委員会 0966-38-4450



桑原家住宅



◆錦町の桃

錦町は熊本県内有数の桃の産地。果汁たっぷりで香り高く甘さ溢れる当地の桃はリピーター続出。まさにこれからの6月～7月頃がおいしさのピークを迎えます。秋には梨が登場。町内の幾つかの果樹園ではフルーツ狩りを楽しむことができます。

（問）道の駅 錦 0966-34-5550



錦町の桃

お知らせ

◆永青文庫（熊本藩細川家に伝来する歴史資料や美術品に出合える美術館） 初夏展「仙厓ワールド—また来て笑って！仙厓さんのZen Zen 禅画—」

江戸時代後期の禅僧・仙厓義梵（せんがいぎぼん）（1750～1837）は、ユーモアに富んだ書画を通して禅の教えを広く伝えたことで知られます。永青文庫には、設立者・細川護立（もりたつ）（1883～1970）が集めた仙厓の作品100点以上が所蔵されており、禅画コレクションの重要な柱となっています。仙厓が人々にやさしく説いた禅の世界をお楽しみください。
会期：2022年5月21日～7月18日 開館時間10:00～16:30（入館は16:00まで）
休館日：月曜（7月18日は開館）、6月21日 ※最新情報は公式ウェブサイトにて要確認
観覧料：一般 1000円 / 70歳以上 800円 / 大学・高校生 500円 / 中学生以下無料
住所とアクセス：東京都文京区目白台1-1-1 / 有楽町線江戸川橋駅徒歩15分
問合せ：電話 03-3941-0850

